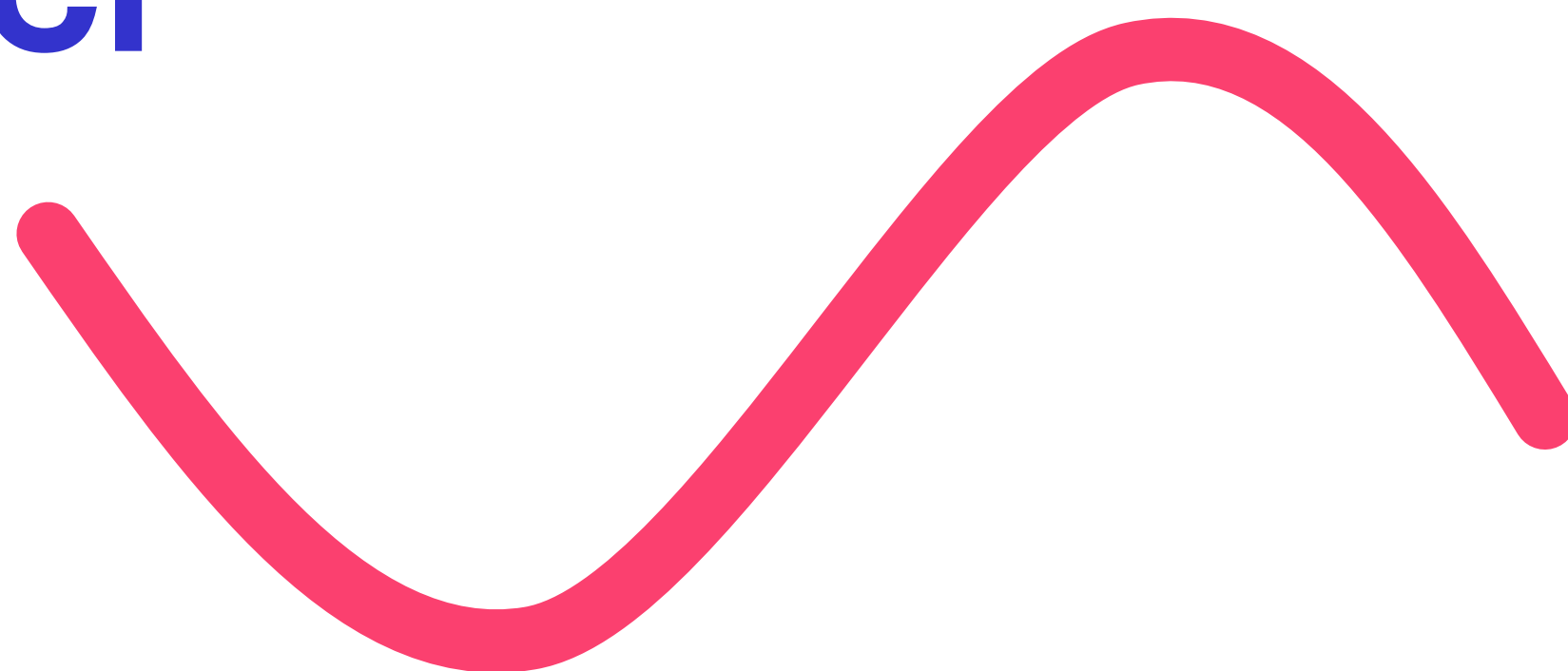


Mother



Baby

赤ちゃんとお母さんをつなぐ「へその緒」は「さい帯」とも呼ばれており、出産後にへその緒と胎盤に残る血液を「さい帯血」と言います。その中には血液のもとになる細胞（造血幹細胞）が含まれていて、白血病をはじめとする血液の病気を患う患者様への移植治療に使用しています。

移植用のさい帯血を採取できる病院は、全国で92カ所（平成30年6月末現在）に限定されていますが、当院は採取施設に認定されています。出産後に赤ちゃんを切り離した後でさい帯血を採取するので、赤ちゃんにもお母さんにも痛みや苦痛は全くありませんので、ご安心ください。

当院で採取されたさい帯血が

101人の

患者さんに移植されました。

平成30年6月末現在

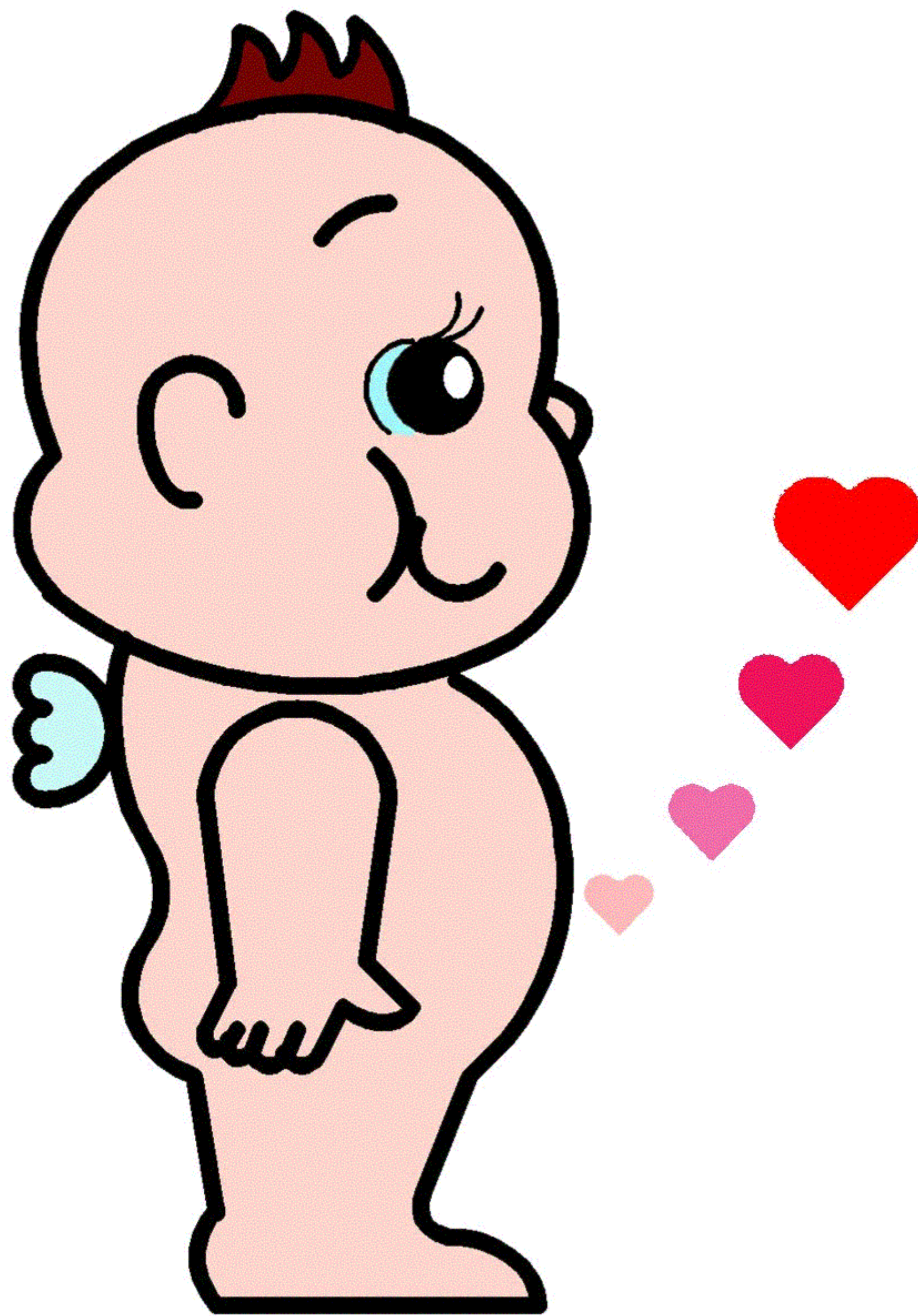
当院は 日本赤十字社 近畿さい帯血バンク の認定採取施設です。

詳しくは産科スタッフまでお問い合わせください。

日本赤十字社
近畿さい帯血バンク

Japanese Red Cross Society Kinki Cord Blood Bank

さい帯血提供にご協力ください



赤ちゃんの最初のボランテティア活動

日本赤十字社 近畿さい帯血バンク

さい帯血とは赤ちゃんとお母さんとを結ぶさい帯（へその緒）と胎盤の中に含まれる血液のことです。さい帯と胎盤は出産後不要となる部分で、さい帯からの採血に痛みはありません。

さい帯血は白血病をはじめとする血液の病気の治療に役立てられます。さい帯血バンクは皆様からいただいたさい帯血を移植できる形に調製して保存し、さい帯血を必要とする患者さんへ送り届けています。

近年、移植成績の向上を目指して、より品質の高いさい帯血が求められています。そのためには、ひとりでも多くの方からのご協力が必要です。

現在公的さい帯血バンクは全国に6カ所、さい帯血を提供できる病院は92カ所しかありません*。

*平成30年6月現在

富雄産婦人科

当院は日本赤十字社近畿さい帯血バンク認定採取施設です。

当院で採取されたさい帯血がこれまでに101名の患者さんに移植されました*。